



Java Community ProcessSM (JCPSM) プログラムの概要 (バージョン 2.5)

Java Community ProcessSM (JCPSM) プログラムの概要

Java Community ProcessSM (JCPSM) プログラムは、Sun Microsystems が 1995 年以来、JavaTM テクノロジ仕様、リファレンス実装 (RI)、およびテクノロジ互換性キット (TCK) の開発および修正に使用している公式の公開標準化プロセスです。Java テクノロジは、国際的な Java コミュニティの支援により発展を続けており、メンバによる貢献および Executive Committee による指導に支えられています。

メンバの権限

650 以上の組織および個人が Java Community Process プログラムに参加しています。強制的な任務はありませんが、メンバには、Java テクノロジの公開前に、その発展に関与する機会が与えられています。メンバの多くは、Java Specification Request (JSR) の開発にも参加しています。

JCP 2.5 では、メンバは OSL、SISL、SCSL などのオープンソースオプションを含むさまざまなライセンスを自分の Java 仕様に設定できます。ライセンスを持ち、互換性を保証する TCK に適合する限り、すべてのメンバが独立した実装を作成できます。また、メンバは TCK と RI のライセンスを別々に設定するオプションを利用可能にすることもできます。加えて、メンバのうち、個人、教育団体、および認可済み非営利組織には、JSR の TCK に無料でアクセスする権限があります。

メンバは次のような形で貢献しています。

- 提案された JSR およびコミュニティドラフトのレビュー
- JSR の提出
- 仕様の策定および改訂を行う専門家グループのメンバの推薦 (自薦または他薦)
- 独立した実装の構築
- Executive Committee メンバ選出時の投票
- Executive Committee への立候補

専門家グループのメンバは次の活動も行います。

- 専門家グループの仕様策定および改訂作業の指導
- 専門家グループの参加者の選出
- メンバおよび一般からのフィードバックに基づく仕様の改善
- 仕様、リファレンス実装、および関連する TCK の完成
- 仕様書の保守

メンバへの登録方法

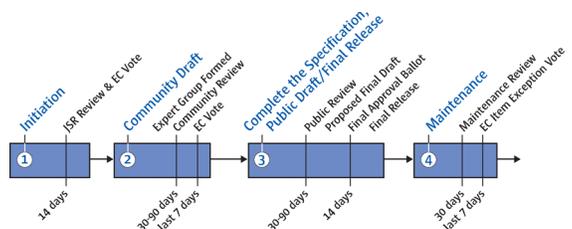
個人または組織は、Java Specification Participation Agreement (JSPA) に署名することにより、JCP のメンバになることができます。組織または個人と Sun との間で結ばれるこの契約には、JCP プログラムへの参加で発生する各メンバの権利および義務が規定されています。

費用をまかなうため、JSPA により次の会費が定められています。

- 営利組織は、年会費 \$5000
- 教育、政府、または非営利組織は、年会費 \$2000
- 個人および Java テクノロジライセンスは会費免除

Java Specification レビュープロセス

現在、190 以上の JSR が開発途中にあります。このプロセスでは、各仕様は 4 つの主要な段階を踏む必要があります。次に各段階を時系列順に示します。

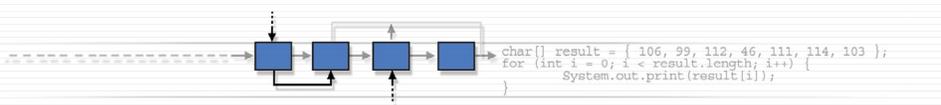


1. **提案:** コミュニティの単独または複数のメンバが提案した仕様が、Executive Committee により開発の承認を受けます。

2. **コミュニティドラフト:** 専門家グループが構成されて仕様のドラフトを作成します。そのドラフトをコミュニティおよび Executive Committee の両方がレビューします。専門家グループは、レビューによるフィードバックを参考にしてドラフトを改訂します。Executive Committee は、ドラフトを次の段階に進めるかどうかを決定します。

3. **パブリックドラフト:** ドラフトはインターネットに公開され、一般ユーザーによるレビューが行われます。専門家グループはフィードバックを参考にして、ドキュメントをさらに改訂します。仕様リードは、RI および関連する TCK の完成を確認してから、ドラフトを Executive Committee に送付し、最終承認を求めます。

4. **保守:** 完成した仕様、RI、および TCK は、説明、解釈、拡張、および改訂などの要求が寄せられるたびに更新されます。Executive Committee は仕様に対する変更提案を検討して、行動方針を決定します。



用語集

Executive Committee: Java テクノロジーの発展を指導するメンバで構成されるグループ。仕様の重複や競争が発生しないこと、および対象とする業界のニーズを仕様を満たしていることを確認します。

Executive Committee のメンバは、JCP のメンバの中から選出されます。**Executive Committee** は、国際的な Java テクノロジーコミュニティにおける主要な出資者や幅広い分野の代表者で構成される組織です。2つの **Executive Committee** が存在します。1 つは、デスクトップおよびサーバ市場向けの Java テクノロジーを監督し、Java 2 Platform, Standard Edition™ (J2SE™) および Java 2 Platform, Enterprise Edition™ (J2EE™) に関連する仕様の責任を負います。もう 1 つは、コンシューマおよび組み込み市場向けの Java テクノロジーを監督し、Java 2 Platform, Micro Edition™ (J2ME™) の仕様を担当します。

Individual Expert Participation Agreement (IEPA): Sun と個人との間で締結される無報酬契約。企業や組織を代表しない技術者は、この契約を締結して、特定の専門家グループに、それが解散されるまで参加できます。

Java Community Process (JCP): Java テクノロジーの特定分野（言語、仮想マシン、プラットフォームエディション、プロファイル、アプリケーションプログラミングインタフェースなど）の仕様書を開発または改訂するプロセス。

Java Specification Participation Agreement (JSPA1 および JSPA2): Sun と組織または個人間で締結する、1 年ごとに更新可能な契約。この契約を締結すると、JCP プログラムへの参加が可能になります。JCP 2.5 のすべての JSR には、JSPA2 を締結した専門家グループのメンバが参加する必要があります。JSPA2 では、すべての Java 仕様において、互換性のある独立した実装の開発および配布を許可し、RI と TCK を別々に利用可能にし、テクノロジー互換性キット (TCK) を認可済み非営利組織、教育団体、および個人に無料で提供する必要があります。専門家グループは、以前の JCP/JSPA1 版の契約下で形成された JSR を JCP 2.5 下で運用し、JSPA2 に従うように変更するよう Program Management Office に依頼できますが、その前に当該 JSR の専門家グループの全メンバが JSPA2 に署名する必要があります。

Java Specification Request (JSR): 新規仕様の開発や既存仕様の重要な改訂を提案する目的で、単独または複数のメンバにより Program Management Office に提出される文書。JCP 2.5 では、JSR の最初の提出時に、その仕様が Platform 仕様の一部になってもそれとは別に仕様として提案し続けるか、それとも Platform 仕様の一部としてのみ提案するかについて、

提出者の意向を伝える必要があります。

JCP サイト (www.jcp.org): JCP の活動内容の把握、ドラフトや最終版仕様のダウンロード、および Java Community Process での仕様の進捗状況の確認をだれもが行うことのできるサイト。

JCP 仕様ページ: 開発または改訂が承認された仕様ごとに、JCP サイト上に公開 Web ページが準備されます。この Web ページには、プロセスでの仕様の進捗履歴が含まれます。

JCP メンバ: JSPA に署名をして、その契約条項に従う組織または個人。

Platform 仕様: 他の API、アプリケーション、およびプロファイルを構築するための基盤を提供する、ベースラインのアプリケーションプログラミングインタフェース (API) セットを定義する仕様。現在、J2SE、J2EE、および J2ME の 3 つの Platform 仕様があります。

Program Management Office (PMO): JCP の運営を担当し、Executive Committee の議長を務める Sun 内部のグループ。

仕様リード: 仕様およびそれに関連する RI と TCK の開発または重要な改訂を指揮する専門家。仕様リード（またはその所属組織）は JCP メンバである必要があります。

専門家グループ: 仕様の開発および改訂を行う専門家のグループ。このグループのメンバは、Java Specification Request (JSR) が対象とするテクノロジーに精通した活動的な技術者です。

テクノロジー互換性キット (TCK): 実装が仕様に準拠していることを確認するためのテスト、ツール、および文書のスイート。

独立した実装: 仕様の実装の 1 つで、当該仕様の RI を組み込むことも、他の方法で利用することも一切しないもの。

リファレンス実装 (RI): 仕様のプロトタイプ実装または概念実証実装。

詳細情報

JCP プログラムに関する詳細は、www.jcp.org を参照してください。

JCP プログラムに関する情報を定期的に入手し、仕様の進捗状況を確認するには、www.jcp.org で JCP-interest メールングリストに登録してください。